

(様式第3号)

企業・団体名(長野県中小企業団体中央会)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	【非該当】	<input type="checkbox"/>	採用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる雇用面の条件で、差別のない環境を構築し、幹部職員が積極的に関与し確認している。(公正採用人権啓発推進員の選任)また、公正採用人権啓発協力員としても啓蒙、普及に努めている。					5.1 5.2 5.5									16.1 16.2 16.7								
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。研修を実施し、相談窓口を設置して厳正に対処している。 また、中小企業・小規模事業者に対してもハラスメントに関する研修会を提供し、ハラスメントの防止を推進している。					5.1 5.2 5.5									16.1								
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本		<input type="checkbox"/>	労働基準法等の改正内容を役員・幹部職員を含め理解している。法に基づき3・6協定も締結し、長時間労働は是正に取り組んでいる。 また、本会の事業として、中小企業・小規模事業者の生産性の向上も含め、働き方改革を支援し、就業の抑制を推進している。														8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			「制度の趣旨を役員全員理解し、本会事業として「外国人技能実習制度適正化事業」「外国人技能実習監視団体及び実習実施機関適正化事業」に取り組む、事業の円滑な運営に努めている。(本会としての受け入れはない。)				4.4										8.7 8.8	10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			仕事柄運転での訪問が多いことから、「自動車の安全運転」の徹底、事務所内の整理整頓の徹底による環境の整備、「新しい生活様式」への対応について、朝礼時等に周知している。															3	8						
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修会を開催している。また、長野産業保健総合支援センター運営協議会委員として、働く人の心の健康を支援している。															3							
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材が活躍できるよう、女性の管理職への登用、障がい者雇用、高齢者の再雇用などを推進している。また、(独法)高齢・障害・求職者雇用支援機構連帯協議会委員として、多様な人材が適切な研修機会を得ながら、活躍できる環境づくりを支援している。					5.1 5.5									8.5	10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			中小企業基盤整備機構、全国中央会の開催する研修会・講習会に積極的に参加し職員の資質向上を図るとともに、内部においても施策理解のための研修会、先進協同組合等の事例研究を行うなどを行い、能力向上に取り組んでいる。					4	5.5									8	9						
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法、労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った体制の整備、対応を行っている。						5.5									8.5	10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			三井住友海上保険(株)と包括連携協定を締結しており、同社と連携し、会員企業向けに健康経営に関する情報提供および「健康優良法人認定制度」の登録支援を実施している。 本会としても健康優良法人の認定を目指す。															3	8						
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本		【予定】	廃棄物の種類、量など現状を概ね把握しているが、精度を高める。																11.6	12	14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		【予定】	エネルギー使用料、温室効果ガス排出量の把握を始めているが、精度を高める。																		7.3	13			
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			照明器具及び冷暖房設備を省エネタイプに変更し、事務所内の冷暖房の設定温度の適正化及び自動車の運転速度等の違法化等環境に配慮した取組を推進している。																			7.2 7.3	12.4	13.3	
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令で規制されている有害化学物質を把握したが、本会では使用されていない。																				3.9	6.3	11.6

カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している。						6.6							15						
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			コピー用紙等の削減、再利用を促進している。プラスチック製容器包装への対応として、使い捨てプラスチック使用の削減等を推進している。												13	14.1						
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			水道の蛇口を自動の節水タイプに変更し取り組んでいる。						6.4	6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			エコアクション21の認証取得に対して中小企業・小規模事業者を支援している。				3.9		6	7						12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ																	12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			会員企業向けに再生可能エネルギーに関する支援事業、支援・実施組織の設立、補助金制度の周知等の事業を実施している。本会としての再エネの活用も検討する。(ビルとの関係も必要)							7.2							13					
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			伝統的工芸品を振興する業務の関係から県内天然資源の活用に関して意識を高めている。													12.2	13	14	15			
公正な 事業 慣行	22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本		【予定】 汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、職場内の浸透を図る。																	16	16.5	
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本		【予定】 不正競争行為を含む行動規範を整備し、職場内の浸透を図る。																		16	
	24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本		特許・商標権等知的財産権及び公開特許の活用に関する知識を習得するための研修会に参加し、その知識を基に活用等の支援を行っている。								8.2	8.3	9									
	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本		「個人情報保護方針」を定めて公表し、体制を整備している。																		16	
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																				16	
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ							5			8			10	12	13	14	15	16	17		
	28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。				3				8	9	10							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定